



2 「天主」があった片岡城 関川尚功（上牧町教育委員会 文化財専門員）

▶問合先 社会教育課 TEL76-2532

戦国時代に築かれた片岡城はどのような形の城であったのか、それを見ていきます。

下牧から西へ街道を上ると高くなり、峠にあたるところが片岡城の中央部分になります。実はこの街道は城の内部を通過しており、その南北にわたって片岡城の遺跡が広がります。街道北側の最も高くて広い平坦地が主郭（本丸）で、ここを中心に曲輪と呼ばれる武士の詰所や空堀がめぐります。戦国時代の城ですので、まだ石垣はありません。主郭から周囲を眺めると、現在は木々が茂り松永久秀の信貴山城もかろうじて見えるほどですが、馬見丘陵の最高所にあたるため、当時は四方をすべて見渡すことができる城でした。そして、片岡城と信貴山城との間には、立野城（三郷町）、馬ヶ脊城（王寺町）があり、片岡城から信貴山城まで連絡が取れるように城が連なって築かれていました。

令和2年春に片岡城跡の主郭で桜を植えた時、そこで初めて瓦が見つかり、片岡城には瓦葺きの建物があることがわかりました。織田信長の一代記である『信長公記』の片岡城の戦いのところには「天主」があったことが記されています。片岡城には、後の「天守閣」のもとになる何層もの高い建物があり、それは瓦葺きであったかもしれません。

また街道の南にも主郭に次ぐ広さの曲輪があります。ここは主郭より低く街道の横なので、街道の監視や政治をとる屋敷が置かれたところかもしれません。片岡城がこのような大規模な城となったのは、永禄12（1569）年に大和へ攻め込み、片岡城を片岡氏から奪った松永久秀が大々的に拡張したためと思われます。松永久秀の城造りの手法は、織田信長も安土城に取り入れるほど優れたものであることが知られています。片岡城は戦いに備える山城であるとともに、北葛城郡北部を治める政治の中心地でもあったようです。



片岡城跡 位置図



片岡城跡から出土した瓦

広告

入居時自立型
介護付有料
老人ホーム

奈良ニッセイエデンの園

見学会のご案内
時間 14:00 開会(13:30 開場)
要予約
参加費無料

9月6日(金)
「老後生活にいくらお金がかかるのか？」
講師：小林経営教育研究所 代表 小林 隆三 氏

0800-888-4165
受付時間 9:00~17:00 (土・日・祝日を除く)

〒636-0071 奈良県北葛城郡河合町高塚台1-8-1
事業主/公益財団法人ニッセイ聖徳健康福祉財団

奈良県有料老人ホーム ●施設類型/介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護) ●居住の権利形態/利用方式 ●利用料の支払い方式/全額前払い方式 ●介護保険/奈良県指定介護保険特定施設(一般型特定施設) ●入居時の要件/入居後 類型および表示 事項

広告

孫七瓦工業株式会社

元禄七年(1694年)創業 300年超えの伝統と信用

葺き替え・屋根リフォーム・雨漏り・屋根修理
雨樋修理・外壁塗装・内外装リフォーム

お家のトラブル解決します 小さな工事からお気軽にご相談ください

生駒郡斑鳩町神南3丁目13-13 <https://www.magohichi.com>

☎ 0120-418-057

QRコードからHPをご覧いただけます

修理・葺き替え工程・耐風対策などのご紹介もしています